

上  
島  
町

6月15日  
～7月17日



## 祝 村上幸史選手(28) 北京オリンピック出場おめでとう！

上島町生名出身の村上幸史選手が北京オリンピック陸上男子やり投げの日本代表に選ばれました。男子やり投げの第一人者である村上選手は、6月29日に行われたオリンピック代表選考会を兼ねた日本選手権で、オリンピック参加標準記録B（B標準＝77m80）をただ一人突破する79m71を投げて9連覇を飾りました。日本陸上競技連盟は、2006年に行われたアジア大会銀メダルの評価と、今回の記録が大阪で開催された世界選手権にあてはめると予選通過記録（79m79）に近いと、「世界で戦えるレベル」と判断し、村上選手を北京オリンピックの日本代表に選出しました。

村上選手は2004年のアテネオリンピックに続き、二大会連続の出場となりました。

また、7月17日には生名小学校において村上選手の壮行会が行われ、会場には村上選手を応援しようと地元小中学生や住民など300人を超える人たちが集まりました。

そして、大きな拍手に迎えられ、中学生の後輩2名の先導で村上選手が入場してきました。

まず、上村町長から「日の丸を胸に日本の代表として、そして上島の子どもたちの星として誇り高く戦ってきて頂きたいと願っております。」と激励の言葉があり、中学生代表の岡野健さんが、「世界の頂点を目指してきてください。」とメッセージを送りました。

続いて、生名小学校6年生の上村侑生さんから花束が贈呈され、各小学校からの色紙メッセージと各中学校からの日の丸・町旗寄せ書きがそれぞれ手渡されました。

その後、村上選手が「今回のオリンピックは、前回と違って勝負したいと思っていますので、皆様の期待と一緒に中国（北京）に持って行って精一杯頑張りたいと思います。」と挨拶をしました。

最後に、上島町体育協会寺下会長の万歳三唱で壮行会は終了しました。

終了後、村上選手と記念撮影を行い、村上選手がやり投げを実演し、集まった人たちはその迫力を目の当たりにしました。

北京オリンピックでは、村上選手は8月21日の予選から出場します。皆さんも、郷土の星である村上選手が好成績を残せるよう応援しましょう。



### 《プロフィール》

生年月日 1979年12月23日  
出身 生名中学校→今治明德高校→  
日本大学→スズキ  
最高記録 81m71 日本歴代3位  
(2004年愛媛リレーカーニバル)

### 《主な戦績》

1997年	インターハイ	優勝
1998年	世界ジュニア選手権	3位
2000年	日本選手権	優勝
2001年	ユニバーシアード	7位
2002年	アジア大会	2位
2004年	アテネオリンピック	出場
2006年	アジア大会	2位
2008年	日本選手権	優勝

☆9連覇☆

## 弓削地区緑ヶ丘B棟

### 建設工事起工式

7月8日、弓削地区上弓削の緑ヶ丘B棟建設地において、弓削地区緑ヶ丘B棟建設工事の起工式が挙行されました。

上村町長をはじめ、町議会議員、上弓削地区住民代表、工事関係者など26名が参列しました。神事は高濱八幡神社の亀山宮司が司り、祝詞奏上、地鎮の儀、玉串奉奠などの神事が厳かに執り行われ、工事の安全を祈願しました。その後、上村町長が「皆様と力を合わせて今まで以上のすばらしい住宅が完成することを中心から祈念いたします。」と挨拶を述べ、続いて田窪議長の乾杯の発声により神酒拝戴が執り行われ、起工式は終了しました。

この工事は、鉄筋コンクリート造の地上4階建てで整備戸数は37戸、住棟の一階部分には緑ヶ丘団地の集会所を整備します。本工事は、平成21年3月の完成予定です。



## 上島町合同育児教室

6月20日、せとうち交流館において、「上島町合同育児教室」が開催され、各地区から37組の親子が参加しました。

今回は運動会で、ゾウさんチームとウサギさんチームに分かれ、かけっこ、大玉ころがし、玉入れ、ダンボール引つ張りレースと元気いっぱいばっていきました。

運動会の後は、保健栄養推進員さんが作ってくれたお弁当をみんなでみんもりもりもりと全部食べていました。



みんなで記念撮影!

## 愛媛県消防操法今治・越智地区大会

7月6日、今治市の桜井運動公園において、第27回愛媛県消防操法今治・越智地区大会が開催されました。

上島町からは、小型ポンプの部に岩城方面隊第二分団・生名方面隊第一分団・弓削方面隊第一分団、ポンプ自動車の部に弓削方面隊第四分団が出場し、日頃の訓練の成果を十分に発揮しました。



岩城方面隊第二分団



生名方面隊第一分団



弓削方面隊第一分団

## 上島町小学校球技交歓会

6月17日、弓削小学校において上島町小学校球技交歓会が開催され、ソフトボールとミニバスケットボールに分かれて試合を行いました。選手たちは日頃の練習の成果を十分に発揮し、力いっぱいプレーしていました。

### 【試合結果】

- 男子ソフトボール
- 優勝 岩城小学校 (2勝0敗)
- 準優勝 生名小学校 (1勝1敗)
- 第三位 弓削小学校 (0勝2敗)
- 女子ミニバスケットボール
- 《Aグループ》
- 優勝 弓削小学校 (2勝0敗)
- 準優勝 岩城小学校 (1勝1敗)
- 第三位 生名小学校 (0勝2敗)
- 《Cグループ》
- 優勝 生名小学校 (2勝0敗)
- 準優勝 弓削小学校 (1勝1敗)
- 第三位 岩城小学校 (0勝2敗)



## ネット対策

### 地区別啓発説明会

7月1日、弓削中央公民館において、上島町教育委員会主催により、保育所、小中学校、高等学校の職員をはじめ主任児童委員、スクールガードリーダー、PTA関係者ら約60名が参加して、「ネット対策地区別啓発説明会」を開催しました。

最近、インターネット環境の著しい変化にともない、「学校裏サイト」や「プロフィールサイト（プロフィール）」への書き込み等、児童生徒へ関わる諸問題が多発しています。今やこの問題は、子どもたちの人権や生命に関わる問題となり、喫緊の課題となっています。

そこで、当日は、講師として愛媛県教育委員会より田坂文明先生、愛媛県総合教育センターから沖田義朝先生をお招きし、『ネットの闇社会 子どもたちの姿が見えていますか』と題してネット上に潜む危険や恐ろしい現状と対策について講義をしていただきました。

参加者は「子どもたちの命を守る」という観点から危機意識とともに使命感をもち、熱心に講義に聴き入っていました。



## スクールガード養成講習

6月21日、せとうち交流館において、学校及びPTA関係者、スクールガードリーダーを対象に約30名が出席し、スクールガード養成講習会を開催しました。

この講習会は、愛媛県と上島町教育委員会の主催により、町内各小中学校に対し、児童生徒の安全確保の現状と課題及び見守り隊の意義や役割について講習を行い、地域ぐるみで学校安全に取り組みための意識の高揚を図る目的で平成18年度から実施しております。

当日は、事務局からの学校安全についての説明、防犯についての実践取組発表、また、伯方警察署の青パト講習を行い、参加者は真剣に聴講しました。



## 上島町がきれいになりました！

上島町各地区において、海岸等の清掃を行いました。

6月15日には生名地区全域の一斉清掃、21日には岩城島海岸全域の海岸清掃、24日には魚島の大木海岸の海岸清掃、7月12日には弓削地区全域の一斉清掃がそれぞれ行われました。

そして、ビンや缶、流木などたくさんのごみが回収され、上島町がきれいになりました。参加された皆さんご協力ありがとうございました。



大木海岸（魚島）

## 食中毒予防教室

本格的な食中毒シーズン前に、弓削地区では6月6日、生名地区では27日に、各保健センターにおいて「食中毒予防教室」を開催しました。

当日は、給食施設の調理従事者や一般町民の方など計27名が参加しました。

講師として今治保健所の石山恵食品衛生監視員を招き、最近の食中毒発生状況や、食中毒の病原菌についての講義を受けました。

参加者は、食品衛生管理の必要性を改めて実感していました。



## 岩城地区

### 第17回関西岩城会総会・親睦会

6月15日、大阪市北区ホテルグリーンプラザアネックスにおいて関西岩城会の総会と親睦会が開催されました。

本年は、98名と昨年を上回る参加があり上島町から上村町長、新川副議長ほか岩城の有志5名も参加しました。

総会では、桑原会長の挨拶、上村町長の祝辞に続き平成19年度事業報告並びに会計報告、そして役員の留任が承認されました。

その後、新川副議長の乾杯の音頭を皮切りに親睦会が始まり、各テーブルでは懐かしの話で盛り上がりつつありました。

また、カラオケの競演や有志による「芋のくき」が合唱され、故郷を思う気持ちを共有していました。

最後に、上村町長から手土産品が桑原会長に手渡され、参加者全員による万歳三唱で幕を閉じました。

毎年参加者は、各同級生の勧誘により増えています。

特に55歳以下の若年層の参加をお待ちしております。

関西岩城会の20年度行事も盛りだくさん計画していますので、近畿一円在住の岩城出身の方、故郷の話に耳を傾け、思い出話に花を咲かせてみませんか。



### 地域食材を活用した学校給食

6月19日、岩城小学校において、地域食材を活用した給食試食会が開催されました。

これは、地域食材を学校に納入している地元農家からなる「うまい会」の主催で毎年行われているものです。

はじめに、3年生の児童が地元農家を訪問し、野菜づくりについて調べたことを発表しました。

この日は、地元でとれた新鮮なじゃがいもときゅうりを使った料理が並び、3年生のみんなは、地元農家の人にいろいろな質問をしながら、愛情たっぷり美味しい給食を楽しく食べていました。



### 岩城港務所内に産直市場

岩城港務所内のロビーにおいて、地元野菜の産直市場が行われております。

これは、農家の方の意向と、フェリー便がなくなり利用客が減った港務所を元気にさせるため、岩城物産センターの協力の元で始まりました。

現在、約20件の農家の方が旬の野菜を販売しており、岩城島内の方ももちろんのこと、島外の方の利用も多く、新鮮な地元野菜がすぐ買えるとあって、大変好評です。売られる商品も多いそうです。



### 海を豊かに 稚魚放流

#### 稚魚放流

6月5日、岩城島、赤穂根島、津波島及び生名島沖において、岩城生名漁業協同組合によるキジハタ稚魚1,000尾の直接放流が行われました。また、6月10日には、20日間の中間育成を経たヒラメ稚魚15,900尾の放流が行われました。

岩城生名漁業協同組合では、岩城・生名海域の資源回復及び維持並びに環境保護のため、毎年稚魚の放流等を行っています。

今後もうこうした取り組みを継続することによって、当該海域が豊かになり、さらには漁獲量が増えていくことにより魚の安定した需要供給が期待されます。



## 岩城保育所 はみがき教室

7月2日、岩城保育所において園児と保護者を対象にはみがき教室を行いました。岩城歯科診療所の村上玲子先生による「歯の健康」についての講話とはみがき指導が行われました。講話では、虫歯の原因となるばい菌の絵や歯の模型を使用したため、園児にもわかり易かったようです。又、親が子どもの仕上げみがきを実施し、楽しんで行えました。



## 弓削地区

### 弓削小学校砂浜集会

7月9日、弓削小学校西海岸において、弓削小学校全児童が参加する砂浜集会が行われました。今年の全体のテーマは「弓削小のマスケット」で、5班に分かれてのアート作りがスタートしました。作品は、「ノートとえんぴつ」「弓削小トリオ」「イルカ」「Mカンマン」「あさり」で、海藻や帽子などを使ったりと個性あふれるアートを各班力を合わせて作っていました。この日は、魚島小学校の児童4名との交流会も兼ねて行われ、弓削・魚島合同のアート作りとなりました。



## 弓削小4年生芋の苗植え付け

6月16日、弓削小学校において、4年生22名によるサツマイモ苗の植え付けが行われました。これは、自然や地元農業者の方々とはふれあい、農作物を育て収穫する喜びを味わう事を目的に毎年行われています。子どもたちは、260本の苗を1本1本丁寧に植え付けていました。このサツマイモは秋に収穫され、全校によるお芋パーティーが開かれるそうです。



## アメリカからの高校生体験交流

6月16・17日の2日間、アメリカコロラド州とネバダ州の高校生36名が弓削商船高等専門学校で体験交流を行いました。16日は、「弓削丸」の見学と「はまかぜ」で弓削島を一周し、海を見たことがほとんどない高校生にとって、とても楽しい時間となりました。17日には、弓削商船高等専門学校の学生とともに、書道・茶道・剣道・折紙を体験しました。学生たちは、授業の中でお互いのメールアドレスを交換する風景も見られ、今後学生同士の交流が続くことが期待されます。



## オオオニバス

### (大鬼蓮)の移植

6月28日、弓削港前の友愛の水記念公園において、世界一大きな葉（直径1.5メートル以上）で有名な、オオオニバス2株の移植を行いました。

これは、以前弓削小学校で勤務されていた大澤誠二教諭が、「2日間の開花（1日目は白く、2日目は淡いピンクに色づく）や周囲に甘い香をふりまく貴重な植物を地域の方に身近に感じてもらいたい。そして、会話の種にしてもらいたい。」と今治の「緑の相談所」から譲り受けて移植しました。

同教諭によると、熱帯の植物で屋外で育てることが難しいため、四国では「今治市民の森」と「高知県立牧野植物園」にしかない珍しい植物だそうです。早いものだと7月中に開花するそうです。



## 生名地区

### 伝統文化をこどもに！

6月22日、「伝統文化 琴・尺八こども教室」の開講式をこども12人（生名小10名・弓削小2名）、保護者10名、指導員等5人出席のもと生名公民館で開催しました。

指導員の先生方から趣旨や運営・楽器についての説明、こどもたちの自己紹介、先生たちによる模範演奏「春の海」、昨年からの受講していた子どもたちによる演奏が行われました。

これから来年の2月末まで、計20回の教室が開催されます。

伝統文化こども教室事業は、文化庁から委嘱を受けた伝統文化活性化国民協会の事業です。



### 第8回ビーチボールバレー大会

6月29日、蛙石体育館において、第8回ビーチボールバレー大会が開催されました。

男子の部9チーム、女子の部11チームの参加があり、予選リーグの後、各都上位4チームによる決勝トーメントで優勝者を決定しました。結果は次のとおりです。

- 《男子の部》
- 優 勝・King（因島土生）
- 準優勝・おととつとB（生名）
- 第三位・おととつとA（生名）
- 《女子の部》
- 優 勝・Lips（因島田熊）
- 準優勝・ドタバタB（生名）
- 第三位・ドタバタA（生名）



## ラージボール交流会

6月29日、生名体育館で、25名が参加して「ラージボール交流会」を行いました。村上歳夫さんの指導で、参加者のステップアップができ、楽しくプレーをしてお互いの親睦を図ることができました。

練習は、「楽しみ」と「メタボ対策！」のために続けていくそうです。「来月から初心者ですが一緒に練習させてください。」という方もおられました。

秋には、「ラージボール大会」を行う予定です。



## スポーツ吹矢大会

6月23日、蛙石体育館で、熊本県在住の山本泰弘・一恵ご夫妻（生名出身）を招いて「第1回スポーツ吹矢大会」を開催しました。

参加者23名で個人戦、団体戦を行いました。初めての大会なので皆な最初は緊張しておりましたが、講師の的確な指導のもと和気あいあいと楽しく競技を行うことが出来ました。



## 魚島地区

### 魚島小・中地域参観

6月28日、学校を広く地域に公開し、率直なご意見やご感想をいただき、これからの学校改善に生かすための地域参観日が実施されました。

当日は、魚島教育振興会・老人クラブ・婦人会はじめ各種機関・団体、地域や保護者の方々約30名が参観しました。

中には、久しぶりに学校に来たという方もおられ、懐かしそうに玄関にある卒業写真や今の子どもたちの授業風景に見入っていました。



## 魚島中学生 車イス体験

7月3日、魚島中学校の総合的な学習の時間の授業で、2年生が車イスの体験を行いました。始めに車イスについて説明を受け、その後、島内道路を介助したり、実際に診療所や郵便局を車イスで自走しました。「車イスを体験してみても、普段なんともない道の段差や傾斜、狭さに気づいた。困った人がいたら手を貸したり、車イスが通り易いようにゴミを拾うなどしたい」と述べていました。

